

原子燃料工業株式会社熊取事業所  
加工事業変更許可申請の概要について

平成 1 9 年 2 月  
経 済 産 業 省  
原子力安全・保安院

## 目 次

### I 申請の概要

1. 名称及び住所並びに代表者の氏名 .....	1
2. 変更に係る事業所の名称及び所在地 .....	1
3. 申請年月日 .....	1
4. 申請内容 .....	1
5. 工期 .....	1
6. 工事に要する資金の調達計画 .....	1

### II 変更の内容 .....

2
---

## I 申請の概要

### 1. 名称及び住所並びに代表者の氏名

名 称 原子燃料工業株式会社

住 所 東京都港区三田三丁目 1 4 番 1 0 号

代表者氏名 取締役社長 岩田 善輔

### 2. 変更に係る事業所の名称及び所在地

名 称 原子燃料工業株式会社 熊取事業所

所 在 地 大阪府泉南郡熊取町朝代西一丁目 9 5 0

### 3. 申請年月日

平成 1 8 年 1 0 月 3 1 日（平成 1 9 年 1 月 1 9 日付け一部補正）

### 4. 申請内容

#### II 変更の内容のとおり

### 5. 工期

項 目	年	平成 19 年（2007 年）						平成 20 年（2008 年）						平成 21 年		
	月	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6
1. 成形施設																
2. 貯蔵施設																
3. 廃棄施設																

### 6. 工事に要する資金の調達計画

本変更の工事に要する資金は自己資金を用いる。

## Ⅱ 主な変更の内容

### １．廃棄施設の変更

放射性固体廃棄物の保管廃棄能力を増強するため、第１加工棟の第１－１部品加工室、第１－２部品加工室及び第１事務室の一部を廃棄物貯蔵室に変更し、第４－８廃棄物貯蔵室及び第４－９廃棄物貯蔵室とする。また、同棟の既設の第４－３廃棄物貯蔵室、第４－５廃棄物貯蔵室及び第４－６廃棄物貯蔵施設の保管廃棄能力を変更する。

主要な設備の名称	保管廃棄能力 (２００Ｌドラム缶換算)	
	変更前	変更後
第１加工棟	約２，０００本	約６，０２０本
第４－１廃棄物貯蔵室	約９００本	約９００本
第４－２廃棄物貯蔵室	約２０本	約２０本
第４－３廃棄物貯蔵室	約４０本	約８０本
第４－４廃棄物貯蔵室	約４０本	約４０本
第４－５廃棄物貯蔵室	約９００本	約１，２７０本
第４－６廃棄物貯蔵室	約２０本	約３０本
第４－７廃棄物貯蔵室	約８０本	約８０本
第４－８廃棄物貯蔵室	－	約２，０４０本
第４－９廃棄物貯蔵室	－	約１，５６０本
第１廃棄物貯蔵棟	約１，７５０本	約１，７５０本
第３廃棄物貯蔵棟	約３，４００本	約３，４００本

：変更対象

### ２．貯蔵施設の変更

燃料集合体保管設備の新設等により、第１加工棟及び第２加工棟における燃料集合体の最大貯蔵能力を変更する。本変更により燃料集合体の最大貯蔵能力は、第１加工棟で 17.2ton-U、第２加工棟で 184.5ton-U となる。

### ３．加工の方法の変更

スクラップの形態に二酸化ウランペレットを追加し、乾燥工程及び焙焼工程及びそれらを迂回する工程を明確にする。また、酸化ウランからなるスクラップを均質化混合する工程を追加する。

二酸化ウランペレットを被覆管に挿入した後の乾燥を迂回する工程を追加する。

製造工程において発生した不適合品の取扱い工程を明確にする。

表 1 最大貯蔵能力の変更内容

変更前

施設		設備及び 機器の種類	最大貯蔵能力			貯蔵対象
			加工施設	建屋	室	
第1加工棟	第1－1 貯蔵容器・ 集合体 保管室	第1－1 燃料集合体 保管設備	192.7 ton-U	17.1 ton-U	17.1 ton-U	NFI-II型9個以下 又は NFI-V型18個以下
第2加工棟	第2梱包室	第2－2 燃料集合体 保管設備		175.6 ton-U (注1)	11.4 ton-U (注2)	NFI-II型11個以下 又は NFI-V型11個以下
		第2－3 燃料集合体 保管設備				NFI-II型1個以下 又は NFI-V型1個以下
	第2輸送容器 保管室	第2－1 燃料集合体 保管設備			14.2 ton-U	NFI-II型5個以下 又は NFI-V型15個以下
	第2集合体 保管室	燃料集合体 貯蔵設備			149 ton-U (注1)	燃料集合体
	第2－1 組立室	燃料集合体 一時保管設備			1 ton-U (注2)	燃料集合体

注1 再生濃縮ウラン30ton-Uを含む。

注2 再生濃縮ウランを全量貯蔵することを含む。

変更後

施設		設備及び 機器の種類	最大貯蔵能力			貯蔵対象
			加工施設	建屋	室	
第1加工棟	第1－1 貯蔵容器・ 集合体 保管室	第1－1 燃料集合体 保管設備	201.7 ton-U	17.2 ton-U	17.2 ton-U	輸送物 18個以下 (注3)
第2梱包室	第2－2 燃料集合体 保管設備	184.5 ton-U (注1)		15.3 ton-U (注2)	輸送物 11個以下 (注3)	
	第2－3 燃料集合体 保管設備				輸送物 5個以下 (注3)	
第2輸送容器 保管室	第2－1 燃料集合体 保管設備			19.2 ton-U	輸送物 10個以下 (注3)	
	第2－4 燃料集合体 保管設備				輸送物 10個以下 (注3)	
第2加工棟	第2集合体 保管室			燃料集合体 貯蔵設備	149 ton-U (注1)	燃料集合体
	第2－1 組立室			燃料集合体 一時保管設備	1 ton-U (注2)	燃料集合体

注1 再生濃縮ウラン30ton-Uを含む。

注2 再生濃縮ウランを全量貯蔵することを含む。

注3 核燃料物質を「核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示」に基づき承認された輸送容器に収納して、又は同告示の技術基準に適合する輸送物として貯蔵する。

